

血液検査結果を渡されたけど・・・よくわからん!ということありませんか??  
健康診断で行われる一般検査が、どの臓器の状態を調べているのか取り上げてみました。

## 臨床検査値とは??

臨床検査は、患者から採取した血液や尿、便、細胞などを調べる「**検体検査**」と、心電図や脳波などで患者を直接調べる「**生理機能検査(生体検査ともいう。)**」の2つに大きく分けられます。受診後に渡される血液検査結果は、検体検査の結果です。以下の絵は、検体検査の指標です。脳や心臓などは、生理機能検査でもチェックできます。

## 基準値とは??

基準値は、一般的なものをあらわしますが、検査方法、機械の種類、試薬の種類によって多少変動します。また、個人、医療機関、文献、医師の治療方針によって目標となる値は変わりますので絶対的なものではありません。あくまでも**目安としての指標**です。

### 心臓

**ミオグロビン**: 筋肉内に存在する蛋白で、心臓にダメージがあったときに上昇します。

**CK**: 筋肉内に含まれる酵素で、筋肉にダメージがあったときに上昇。激しい運動でもあがります。

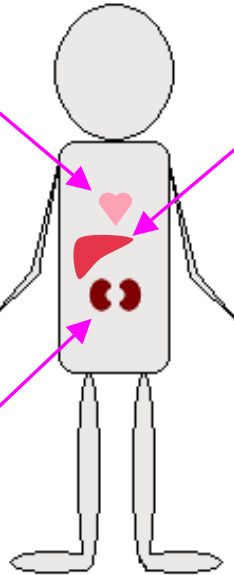
### 腎臓

**尿素窒素(BUN)**: 蛋白の最終産物で尿に排出されます。食事や運動の影響を受けます。

**クレアチニン(Cr)**: 筋肉内で作られ尿に排出されます。腎機能が低下するとこの値が高くなります。食事や運動の影響を受けます。

**尿蛋白(TP)**: 蛋白の大部分は肝臓で作られます。肝機能低下時に下がります。

**アルブミン(Alb)**: 血液中の蛋白の一種で、値が下がるとむくみます。肝機能、腎臓機能の目安になります。



### 肝臓

**AST (GOT)、ALT (GPT)**: 酵素の一種で肝細胞や心筋細胞の中に含まれます。それが破壊されるとこの値が上がります。臓器障害の目安となります。

**γ-GTP**: 肝臓の細胞の中に含まれる酵素で、肝炎、脂肪肝、胆石、お酒を飲みすぎると上がります。

**総ビリルビン**: 血液の分解産物で肝臓を通り便に排出されます。値が上がると肝機能低下が考えられます。

**アミラーゼ**: 糖類を分解する酵素で、膵臓と唾液から分泌されます。膵炎などで上がります。

### その他

**ヘマトクリット**: 血液中の血漿(水分など)と血球(蛋白など)の比率で、ほぼ一定ですが、貧血ではバランスが崩れます。

**HbA1c**: 酸素を運ぶヘモグロビンは糖とくっつきやすく、一度付くと1~2ヶ月離れません。ここ1~2ヶ月間の平均血糖値の目安になります。糖尿病の目安に使われます。

## 開発中の骨粗鬆症の薬

血中のCaは骨に行き来をすることで、常に新しい骨が作られています。歳を重ねると骨形成と骨吸収のバランスが崩れ骨粗鬆症になりやすくなります。

現在、1週間に1回服用するだけの骨粗鬆症の薬がありますが、半年に1回だけになったら良いと思いませんか?あるんです!半年に1回皮下注射するだけのお薬です。口からの摂取ではないために、消化器系の副作用が少なく、また無駄な吸収ロスが無いために、効果が期待できるというわけです。早く世の中に出回ると良いですね。



からだしえん新聞は今回で最終号となります。永いお付き合い有難うございました。またの機会にお会いしましょう!!

全国どこでも処方箋も受付致します。

“安心・安楽・迅速”がモットーの“なかよし薬局”です

船子店:046-220-6868 高森店:0463-90-2311

愛川店:046-284-2227 関口店:046-244-1011

愛甲店:046-248-7622 妻田店:046-222-2801

局前店:046-284-5200 恩名店:046-296-5533

Supported By 治験支援課 Editor:齋藤 万希子

2009年6月発行

Special Thanks:なかよし薬局

もっとくわしい情報をしりたい方はこちら⇒SMO@ims-inc.co.jpまで